

# 第5学年 外国語科学習指導案

日 時 令和4年11月10日(木) 5校時  
5年1組 30名

指導者 HRT  
ALT

## 1 単元名 しょうかいしよう! My Hero!

(参照: Junior Sunshine5 Lesson6 My Hero)

## 2 単元の目標

相手や第三者の得意なことや状態・考えなどを表す表現を聞き取ったり、自分のことや自分にとっての‘Hero’のことをよく知ってもらうために、得意なことなどについて、考えや気持ちなどを含めて話したりすることができる。

## 3 単元について

### (1) 児童の実態 (略)

### (2) 教材観

本単元では、自分にとっての‘Hero’についての話を聞いたり紹介したりする。児童の身の回りには、動画やアニメ等、様々なコンテンツがあふれているし、自分だけが知っている身近な人が‘Hero’である場合もあるだろう。児童にとっての‘Hero’は、希望や元気、勇気、優しさ、安らぎなどを与え、自分たちの生活や生き方を豊かにする大切な存在であり、児童の強い思い入れや関わり、特別なエピソードがあると推察される。

しかし、普段の会話から、本学級の多くの児童は、生活の中で自分にとっての‘Hero’を意識したことがないという実態が浮かび上がった。そこで、国語科や道徳、総合的な学習の時間や特別活動、日記指導などとも関連づけ、「こんな人になりたい」「この人といると笑顔になれる」など、日常生活の中に憧れの人物がいることを意識できる学習や生活場面を設定してきた。

本単元の導入段階では、担任やALTにとっての‘Hero’を紹介し、自分にとっての‘Hero’を意識できるようにする。‘Hero’が自分にとっても友達にとっても大切な存在であることを実感しながら、英語で楽しく伝え合う学習活動を展開したい。さらに本単元をきっかけに、様々な分野で活躍する人物に対する興味や関心を高め、児童の生活体験を豊かにできるように視野を広げたい。

### (3) 指導観

児童はこれまで、なりたい職業に就くための「夢の時間割」を発表したり、「自分の宝物」を伝え合ったりする活動を通して、自分自身を見つめなおし、友達の新たな一面を理解する経験を重ねている。初めは戸惑い、消極的であった児童も、友情に支えられ、学んだ英語を使って表現する楽しさを感じ始めている。

そこで、英語でのコミュニケーションに対する意欲が高まっているこの時期に、自分自身や友達の思いや願いを伝え合い、理解し合う授業を展開したいと願い、本単元を設定した。

本単元では、“be good at ~.” “He [She] is ~.”等の表現を使って、自分や友達の得意なことなどを伝え合ったり、自分にとっての‘Hero’を発表したりする。単元の導入となる第1時では、ALTにとっての‘Hero’についての話を聞き、“be good at ~.” “He [She] is ~.”等の表現に出会う。ALTの‘Hero’に対する思いを知ると同時に、児童にとっての‘Hero’の存在にも意識を向けさせ、単元終末に「My Hero発表会」を行うという目標と単元全体の見通しをもたせる。第2時では、自分のことをよく知ってもらうために、自分自身の得意なことを友達と伝え合う。また、担任にとっての‘Hero’についての話を聞くことで、児童が「自分の‘Hero’のすてきなところを紹介したい」とい

う特別な思いをもつことができるようにしたい。第3・4時では、‘Hero’を紹介するため、“be good at ~.”“He [She] is ~.”等に十分慣れ親しむようにし、第5・6時では、学習した表現を使って‘Hero’を紹介する。その際、‘Hero’への特別な思いをどうしたら伝えられるだろうと思考しながら学習活動に取り組めるようにしたい。

単元を通して、学んだ表現を使って自分の思いが話せるよう、Small Talkを積極的に取り入れたり、ペアやグループで話したり聞いたりする活動の場を設定したりする。さらに、英語に抵抗を感じている児童も安心して楽しく学習できるよう、ジャスチャーや具体物、タブレットなどで英語での表現の手助けとなる方法を示したり、個々の児童の学習状況に応じてデジタル教科書で表現の確認ができるようにしたりして、児童の言語活動を支援していきたい。このような学習活動を積み重ね、仲間と関わり、支え合いながら、英語を使って楽しく主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てていきたいと考えている。

#### 4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	〈知識〉 I’m good at ~. He [She] is good at ~. He [She] is ~. など、相手や相手にとっての‘Hero’の得意なことや状態・考えなどを表す表現について理解している。 〈技能〉 相手や相手にとっての‘Hero’の得意なことや状態・考えを表す表現を聞きとる技能を身に付けている。	本単元では評価しない。	本単元では評価しない。
話すこと（発表）	〈知識〉 I’m good at ~. He [She] is good at ~. He [She] is ~. など、自分や第三者の得意なことや状態・考えなどを表す表現について理解している。 〈技能〉 I’m good at ~. He [She] is good at ~. He [She] is ~. など自分や第三者の得意なことや状態・考えなどを表す表現を用いて話す技能を身に付けている。	自分のことや自分にとっての‘Hero’をよく知ってもらうために、得意なことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。	自分のことや自分にとっての‘Hero’をよく知ってもらうために、得意なことなどについて、自分の考えや気持ちを含めて話そうとしている。

#### 5 単元の指導と評価の計画（全6時間）

時	目標（◆）と主な活動（○）	評 価			
		知 技	思 判 表	態 度	◎評価規準（評価方法） ※指導・学習改善のための評価 (方法)
1	◆ ‘Hero’ についての話を聞き、おおよその内容を理解するとともに、得意なことを表す表現を知り、聞き取ることができる。				
	○ Small Talk ○ ALT にとっての ‘Hero’ についての話を聞き学習の計画を立てる。 ○ 【Let’s Listen2】 p.48 ○ I’m good at ~. ○ 歌 “I Like You”	(聞)			※得意なことを表す表現を聞き取っている。（行動観察・振り返りシート）
2 本 時	◆ 自分の得意なことについて話すことができる。				
	○ 歌 “I Like You” ○ Small Talk ○ “Who am I?” クイズ				

	<p>○ペアで自分の得意なことを話す。 ○HRTにとっての‘Hero’についての話を聞き、単元終末に向けての見通しをもつ。</p>	(発)			※自分の得意なことについて話している。(行動観察・振り返りシート)
3	<p>◆第三者の得意なことについて聞き取ることができる。</p> <p>○歌“I Like You” ○Small Talk ○he/sheチェンゲーム ○【Let’s Listen4】 P.52 ○友達の得意なことなどについて話してみる。</p>	(聞)			※第三者の得意なことについて聞き取っている。(行動観察・ワークシート・振り返りシート)
4	<p>◆第三者の得意なことや状態・考えについて聞いたり話したりすることができる。</p> <p>○歌“I Like You” ○【Let’s Listen5】 P.54 ○「友だちチャンツ」をする。 ○指導者の話す第三者の得意なことや状態・考えなどについて話を聞く。 ○【Let’s Play5】 P.51 4人組になり、ペアの友達の得意なことや状態・考えなどについて、聞いたり話したりする。</p>	聞			<p>◎第三者の得意なことや状態・考えなどについて聞き取っている。(行動観察・ワークシート・振り返りシート)</p> <p>◎第三者の得意なことや状態・考えなどについて話している。(行動観察・ワークシート・振り返りシート)</p>
5	<p>◆自分のことや自分にとっての‘Hero’についてよく知ってもらうために、得意なことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話すことができる。</p> <p>○歌“I Like You” ○Small talk ○自分にとっての‘Hero’について紹介するための内容を考える。 ○自分にとっての‘Hero’をペアで紹介し合う。</p>	発	発		<p>◎第三者の得意なことや状態・考えについて話している。(行動観察・振り返りシート)</p> <p>◎自分のことや自分にとっての‘Hero’のことをよく知ってもらうために、得意なことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。(行動観察・構想メモ・振り返りシート)</p>
6	<p>◆自分のことや自分にとっての‘Hero’についてよく知ってもらうために、得意なことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話すことができる。</p> <p>○歌“I Like You” ○自分にとっての‘Hero’を発表する。</p>	発	発	発	<p>◎第三者の得意なことや状態・考えについて話している。(行動観察・振り返りシート・後日パフォーマンステスト)</p> <p>◎自分のことや自分にとっての‘Hero’についてよく知ってもらうために、得意なことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。(行動観察・振り返りシート・後日パフォーマンステスト)</p> <p>◎自分のことや自分にとっての‘Hero’についてよく知ってもらうために、得意なことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。(行動観察・振り返りシート・後日パフォーマンステスト)</p>
後日	<p>パフォーマンステスト ○指導者に自分の考えを話す。</p>	発	発	発	◎指導者に自分の考えを話している。(行動観察・動画)

## 6 本時の活動（第2時）

(1) 目標 自分の得意なことについて話することができる。

(2) 展開

時間	児童の活動	指導者の活動		指導上の留意点 ◎ 評価規準（評価方法）
		HRT	ALT	※指導・学習改善のための評価 （方法）
4分	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶をする。</li> <li>歌を歌う。 “I Like You”</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体に挨拶をする。</li> <li>児童と一緒に歌う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>英語で挨拶をし、楽しい授業の雰囲気を作る。</li> </ul>
8分	<ul style="list-style-type: none"> <li>Small Talkをする。 「好きな教科」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「好きな教科」について話し、モデルを示す。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>既習表現を活用しながら、考えや気持ちを伝え合えるように支援する。</li> </ul>
7分	<ul style="list-style-type: none"> <li>「Who am I? クイズ」をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クイズを出題する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の発言を促したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童にとって身近な先生についてのクイズを出題し、楽しく考えることができるようにする。</li> <li>既習表現を想起させ、聞き取ることができるようにする。</li> </ul>
12分	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあてをつかむ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <b>自分の得意なことを話そう。</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペアで自分の得意なことを話す。 “I’m good at~.”</li> <li>タブレットを用いて紹介する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現を確認し、自分の本当の思いが伝えられるように支援する。</li> <li>中間評価を行い、困ったことや分からないことはないか確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現の例を示したり、モデルを示したりして支援したり賞賛したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>机間指導や中間評価等を通して児童を見取り、必要に応じて、学級全体で困り感を共有し課題解決を図ったり、チャンツなどの練習的な活動を取り入れて表現の確認を行ったりする。</li> <li>※自分の得意なことについて話している。（行動観察・振り返りシート）</li> </ul>
3分	<ul style="list-style-type: none"> <li>HRTについての‘Hero’の話聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>‘Hero’に対する思いを伝え、紹介のモデルを示す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HRTの話に反応を返しながら聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>‘Hero’が自分にとって特別な存在であることを意識できるように紹介する。</li> <li>He [She] is good at~.の表現や状態や気持ちを表す表現などを使って紹介していることに気付かせ、次時へつなげることができるようにする。</li> </ul>
3分	<ul style="list-style-type: none"> <li>‘Hero’の得意なことなどを想起し、単元の見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童にとっての‘Hero’の得意なことや人柄、特別なエピソードなどを尋ねる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の話聞き、考えに共感する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分にとっての‘Hero’の存在を意識させ、単元全体の学習への意欲付けを図る。</li> </ul>
7分	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の活動を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りの観点を示し、感想を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よかったことを賞賛する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の活動のよかった点を伝え、今後の学習活動への意欲を高められるようにする。</li> </ul>
1分	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体に挨拶をする。</li> </ul>		

(3) 指導・学習改善につなげるための見取りと指導

「話すこと〔発表〕の 知識・技能」

「おおむね満足できる」と判断される状況	言いよんだり、表現等に一部間違いがあったりするものの“ <i>I'm good at～.</i> ”を使って自分の得意なことについて話している。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	指導者が“ <i>I'm good at～.</i> ”などの表現を何度も繰り返し使用して音声に十分慣れさせるとともに、必要に応じて学級全体で練習する時間を設ける。また、ペアで話す際には個別の助言や支援を行い、学習改善につなげる。